

日本太陽光発電学会 2024 年度（第 5 期）事業報告

本学会は、定款で定められた本会の目的である「太陽光発電に関する学術分野の研究の促進ならびに成果の普及に関する事業を行い、将来の脱炭素社会の実現とその発展に寄与する」を達成するため、下記の事業活動を実施した。

【研究会事業】

- (1) 太陽光発電に関する研究成果を広く発信する場を提供し、研究開発の活性化に貢献する。
- (2) 太陽光発電に関心を持つ人々に対し、最新の研究開発状況を専門的かつ網羅的に把握できる場を提供する。

という基本方針の下、以下に示す第 21 回「次世代の太陽光発電システムシンポジウム」（第 4 回日本太陽光発電学会学術講演会）を開催するとともに、4 つの分科会「次世代太陽電池セル・モジュール分科会」、「ペロブスカイト太陽電池分科会」、「次世代太陽光発電システム分科会」、「Women in Photovoltaics 分科会」が以下に示す研究会を実施した。

① 第 21 回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウム

（第 4 回日本太陽光発電学会学術講演会）

日時：2024 年 7 月 11 日（木）～12 日（金）

場所：広島国際会議場 およびオンライン（配信のみ）

実行委員会（五十音順）

実行委員長：尾坂 格（広島大学）

実行副委員長：植田 譲（東京理科大学）

実行委員：稻葉 道彦（東芝エネルギーシステムズ）、宇佐美 徳隆（名古屋大学）、大平 圭介（北陸先端科学技術大学院大学）、貝塚 泉（資源総合システム）、黒川 康良（名古屋大学）、増田 淳（新潟大学）、峯元 高志（立命館大学）

現地実行委員長：尾坂 格（広島大学）

現地実行委員：太田 靖之（宮崎大学）、河本 光明（広島大学）、田中 徹（佐賀大学）、中村 智也（京都大学）、野瀬 嘉太郎（京都大学）、三木江 翼（広島大学）

プログラム委員長：西岡 賢祐（宮崎大学）

プログラム委員：石河 泰明（青山学院大学）、石川 亮祐（東京都市大学）、太田 靖之（宮崎大学）、太野垣 健（産業技術総合研究所）、勝部 涼司（名古屋大学）、門田 直樹（カネカ）、黒川 康良（名古屋大学）、杉渕 康一（資源総合システム）、高津 尚人（みずほリサーチ & テクノロジーズ）、西村 昂人（東京工業大学）、辨天 宏明（奈良先端科学技術大学院大学）、峯元 高志（立命館大学）、若宮 淳志（京都大学）

参加者数：個人会員 181 名、学生会員 59 名、団体または公益会員 1 名、非会員（学生以外）45 名、非会員（学生）14 名

基調講演（1件）

「社会的変革を目指す Town & Gown 構想」高瀬 正道（広島大学）

招待講演（12件）

「太陽光発電の未来」岡本 晋（長州産業）

「民間企業の太陽光発電設置の取組み事例紹介」荒木 健二（ウエストエネルギー・ソリューション）

「次世代型太陽電池の新領域への展開」杉本 広紀（PXP）

「次世代BIPVの普及拡大に向けた取組」中島 昭彦（カネカ）

「太陽光発電の国内リサイクル・リユースの動向」森部 昌一（三菱総合研究所）

「超薄型・塗布プロセスによる有機太陽電池高性能化と応用」福田 憲二郎（理化学研究所）

「ペロブスカイト/ペロブスカイトタンデム太陽電池の進展」早瀬 修二（電気通信大学）

「社会実装へ向けたペロブスカイト太陽電池モジュールの開発」山本 修平（エネコート）

「SLIM 搭載薄膜化合物太陽電池シートについて」高本 達也 → 山口 洋司 ※当日交代（シャープ）

「部分日影に強い太陽電池モジュールの提案」中村 京太郎（豊田工業大学）

「ペロブスカイト太陽電池の評価技術開発と国際標準化への取り組み」吉田 正裕（産業技術総合研究所）

「車載太陽電池モジュールの機械的負荷試験およびシミュレーション」山田 昇（長岡技術科学大学）

基礎講座

「ペロブスカイトの基礎と最前線」宮寺 哲彦（産業技術総合研究所）

特別企画

頑張る若手

【パネリスト】住吉 壱心（京都大学）、辻 流輝（京都大学）、本部 悅史（日産）、金井 綾香（長岡技術科学大学）、城内 紗千子（新潟大学）、西村 昂人（東京工業大学）、庄司 靖（産業技術総合研究所）、來福 至（青山学院大学）、河野 悠（立命館大学）、Ludmila Cojocaru（桐蔭横浜大学）、加藤 尚哉（エネコート）

【ファシリテータ】若宮 淳志（京都大学）、野瀬 嘉太郎（京都大学）、峯元 高志（立命館大学）

一般講演

88件（口頭講演 14件、ポスター講演 74件）

Innovative PV 賞受賞者

- 早瀬 修二（電気通信大学）「ペロブスカイト/ペロブスカイトタンデム太陽電池の進展」

- 石塚 尚吾、西永 慶郎、上川 由紀子、西田 竹志、田口 昇（産業技術総合研究所）「ワイドギャップカルコパライト系太陽電池の光電変換効率向上」

Innovative PV 奨励賞受賞者

- 原田 布由樹（京都大学）「イミダゾール誘導体を用いた大面積スズペロスカイト薄膜の成膜法開発」
- 中村 智也（京都大学）「ピロリジン縮合フラーレン誘導体を電子輸送材料に用いたスズペロスカイト太陽電池」
- 山中 混大（広島大学）「少ステップで合成可能なチアゾロチアゾール系ポリマーの開発と有機薄膜太陽電池特性」
- 永原 光倫（北陸先端科学技術大学院大学）「封止材とカバーガラスを使用しない曲面結晶Si太陽電池モジュールの機械的強度評価」

② 次世代太陽電池セル・モジュール分科会研究会

2024 年度第 1 回研究会

(Women in Photovoltaics 分科会 2024 年度第 1 回研究会と合同で実施)

日時：2024 年 7 月 10 日（水）13:30～17:00

場所：長州産業 本社・工場

「長州産業のご紹介」伊集院 葵（長州産業）

「変調分光法を用いた太陽電池の内部電位評価」住吉 壱心（京都大学）

「High quality c-Si surface passivation by i-a-Si:H deposited by facing target sputtering」Li Shasha（東京工業大学）

「太陽電池材料評価における放射光活用事例」佐々木 拓生（QST）

「ナノインプリント法を用いた Si ヘテロ接合太陽電池用光閉じ込め構造の実装」黒川 康良（名古屋大学）

2024 年度第 2 回研究会

(次世代太陽光発電システム分科会 2024 年度第 2 回研究会と合同で実施)

(日本太陽光発電学会・太陽エネルギー・デザイン研究会 合同開催 「壁面設置太陽光発電システムガイドライン」講演討論会)

日時：2025 年 1 月 21 日（火）13:30～16:45

場所：建築会館 大ホール

「PVTEC「壁面設置太陽光発電システム 設計・施工ガイドライン 2024 年度改訂版」」 石井 久史 (LIXIL) 、宮崎 淳 (日本設計) 、松井 卓矢 (産業技術総合研究所) 、水野 英範 (産業技術総合研究所)

「日射熱取得率高精度評価技術」猪狩 真一 (産業技術総合研究所)

「PVTEC「壁面設置太陽光発電システム 発電電力量推定方法に関するガイドライン」」 大関 崇 (産業技術総合研究所)

「「建物設置型太陽光発電システムの設計・施工ガイドライン 2024 年版」～PVTEC ガイドラインとの差異紹介～」 大関 崇 (産業技術総合研究所)

2024 年度第 3 回研究会

(ペロブスカイト太陽電池分科会 2024 年度第 2 回研究会と合同で実施)

「Innovative PV 賞・PV 奨励賞受賞記念講演」

日時：2025 年 3 月 13 日 (木) 13:45～17:05

場所：東京大学 本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センター

「錫系ペロブスカイト太陽電池の耐久性向上とタンデム化」 早瀬 修二 (電気通信大学)

「ペロブスカイト太陽電池のための多脚型正孔回収単分子膜材料の開発」 チョン ミンアン (京都大学)

「有機薄膜太陽電池の社会実装に向けた材料開発」 尾坂 格 (広島大学)

「CIS 系タンデム太陽電池要素技術の研究開発」 石塚 尚吾 (産業技術総合研究所)

「多接合太陽電池の利用拡大に向けた低コスト化技術の開発」 庄司 靖 (産業技術総合研究所)

③ ペロブスカイト太陽電池分科会研究会

2024 年度第 1 回研究会

日時：2024 年 5 月 22 日 (水) 13:30～17:00

場所：東京大学 駒場キャンパス 東京大学駒場ファカルティーハウス およびオンライン

「太陽光発電の未来太陽電池の実を拓く国際標準化」 近藤 道雄 (早稲田大学)

「ペロブスカイト用化に向けた研究と国際標準化」 村上 拓郎 (産業技術総合研究所)

「ペロブスカイト太陽電池モジュールの屋内・屋外計測」 菱川 善博 (立命館大学)

「RATO と KISTEC によるペロブスカイト太陽電池計測法の国際標準化活動」 馬飼野 信一 (有機系太陽電池技術研究組合)

2024 年度第 2 回研究会

(次世代太陽電池セル・モジュール分科会 2024 年度第 3 回研究会と合同で実施)

「Innovative PV 賞・PV 奨励賞受賞記念講演」

日時：2025年3月13日（木）13:45～17:05
場所：東京大学 本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センター

2024年度第3回研究会

日時：2025年3月14日（金）14:00～17:30
場所：東京大学 駒場IIキャンパス 東京大学駒場ファカルティーハウス 1階セミナー室

「第一原理計算によるペロブスカイト太陽電池の機能解析と材料探索」山下 晃一（横浜市立大学）

「計算シミュレーションと機械学習/AIを用いたペロブスカイト太陽電池の性能予測と最適化」杉本 学（熊本大学）

「フレキシブルペロブスカイト太陽電池モジュールの高温・湿熱耐性」峯元 高志（立命館大学）

④ 次世代太陽光発電システム分科会研究会

2024年度第1回研究会・電中研赤城試験センター&営農型PV関連施設見学会 (Women in Photovoltaics分科会 2024年度第2回研究会と合同で実施)

日時：2024年10月23日（水）9:30～18:00

見学会場所：ファームドウ（高崎市）、電力中央研究所 赤城試験センター（前橋市）

研究会場所：電力中央研究所 赤城試験センター およびオンライン

「系統連系技術の歴史」小林 広武（電力中央研究所）

「PV-PCSの海外規格認証と標準化活動」梅野 千恵子（TMEIC）

「PVと電力システム関連の研究」高橋 明子（福井大学）

2024年度第2回研究会

(次世代太陽電池セル・モジュール分科会 2024年度第2回研究会と合同で実施) (日本太陽光発電学会・太陽エネルギー・デザイン研究会 合同開催 「壁面設置太陽光発電システムガイドライン」講演討論会)

日時：2025年1月21日（火）13:30～16:45

場所：建築会館 大ホール

⑤ Women in Photovoltaics分科会研究会

2024年度第1回研究会

(次世代太陽電池セル・モジュール分科会 2024年度第1回研究会と合同で実施)

日時：2024年7月10日（水）13:30～17:00

場所：長州産業 本社・工場

2024年度第1回研究会・電中研赤城試験センター& 営農型PV関連施設見学会

(次世代太陽光発電システム分科会 2024年度第1回研究会と合同で実施)

日時：2024年10月23日（水）9:30～18:00

見学会場所：ファームドウ（高崎市）、電力中央研究所 赤城試験センター（前橋市）

研究会場所：電力中央研究所 赤城試験センター およびオンライン

表1 分科会研究会参加申込者の会員種別

	個人	学生	団体	公益	共催団体	非会員	非会員 講演者	合計
② 第1回 ⑤ 第1回	21	8	0	0	0	3	2	34
② 第2回 ④ 第2回	13	0	3	0	8	5	2	31
② 第3回 ③ 第2回	28	2	0	0	0	0	0	30
③ 第1回	40	3	1	0	0	0	1	45
③ 第3回	49	1	1	0	0	0	2	53
④ 第2回 ⑤ 第2回	13	0	5	0	0	0	2	20

⑥ 会議の協賛

(一社) 日本太陽エネルギー学会太陽光発電部会 第37回セミナー「太陽光発電と電磁波・電磁界に関するセミナー」

2024年8月28日（水）

早稲田大学西早稲田キャンパス／オンライン

(一社) 太陽光発電協会 ソーラーウィーク2024

2024年11月6日（水）～15日（金）

野村コンファレンスプラザ日本橋 他

海水資源・環境セミナー2024

2024年11月29日（金）

千葉工業大学津田沼キャンパス

(一社) 日本太陽エネルギー学会太陽光発電部会 第39回セミナー「積雪 PV」
2024年12月6日(金)
オンライン

第6回フロンティア太陽電池セミナー
2024年12月12日(木)、13日(金)
松山市教育研修センター

⑦ 会議の後援

2024年度第2回新潟大学カーボンニュートラル融合技術研究センター研究会 カーボンニュートラル次世代人材育成セミナー
2025年3月10日(月)
新潟大学五十嵐キャンパス

【教育・人材育成事業】

(1)教育活動を通した太陽光発電に関する学術分野の成果の普及
(2)太陽光発電の学術分野を担う若手研究者・技術者の育成
(3)ダイバーシティ推進を通した太陽光発電分野の人材育成
という基本方針を実現するため、以下に示す活動を実施した。
•第21回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウム
のサテライトセッションとして、学生による企画の2024年度太陽電池分野学生研究会を開催した。

【ダイバーシティ&インクルージョン事業】

多様性が尊重され包摂されることで、全ての会員が能力を存分に発揮できる学会の実現を目指した活動を企画し実施する。
という基本方針の下、以下に示す活動を実施した。

- 分科会主催研究会において博士後期課程の学生による招待講演の機会を設けた。
次世代太陽電池セル・モジュール分科会 2024年度第1回研究会
住吉 壱心(京都大学)、Li Shasha(東京工業大学)
- PVSEC-35 開催に合わせて、沼津市の中学生向けの科学教室「ソーラーカーを作つて遊ぼう!」、PVSEC-35 参加者向けの Women in PV Luncheon、託児所の設置、学生参加者向けイベント Evening cafe "Shohei" for students を実施した。また、バンケットのアトラクションとして、沼津西高校箏曲部および沼津商業高校書道部によるパフォーマンスを企画した。

【国際事業】

(1) International-PVSEC やアジア諸国、欧米諸国との Workshop を定期的に開催する。
(2) 世界各国の関連学協会との連携を深めるとともに、学会の国際化を推進する。
という基本方針の下、以下に示す活動を実施した。

・ PVSEC-35(2024)の企画・運営支援

*第35回太陽光発電国際会議（PVSEC-35）（2024年11月10-15日、沼津市、組織委員長（山田明））の共催団体としての企画・運営を支援した。

*各種Award (PVSEC Award, Special Award, Hamakawa Award)候補者案の決定

PVSEC Award: 宇佐美 徳隆（名大）

PVSEC Special Award: 吉井 明人（ナミックス）

Hamakawa Award: 若宮 淳志（京大）

・ 「The 9th Korea-China-Japan Joint Workshop on Photovoltaics」の開催

* 日時：2024年8月11日(日) 10:00-17:00

* 場所：Rooms 204 and 205, Daejeon Convention Center (DCC), Daejeon, Korea

Organized by: The Korea Photovoltaic Society
China Renewable Energy Society
The Japan Photovoltaic Society

Organizing Committee:

Workshop Chairs

Jin Hyeok Kim / Chonnam National University
Meicheng Li / North China Electric Power University
Yuzuru Ueda / Tokyo University of Science

Program Chairs

Min Jae Ko / Hanyang University
Yibo Wang / CAS Institute of Electrical Engineering
Noritaka Usami / Nagoya University

Advisors

Donghwan Kim / Korea University
Deren Yang / Zhejiang University
Makoto Konagai / Tokyo City University

Technical Sessions

- Technologies and Policies in Korea, China, and Japan
- Recent Progress in Crystalline Si PV
- Recent Progress in Perovskite based PV
- Recent Progress in Inorganic Thin Film based PV

招待講演者数：

韓国6名、日本6名、中国3名

・「4th Asian Nations Joint Workshop on Photovoltaics」の開催

日時：2024年11月14日（木）

場所：Rm301/302, 沼津、Plaza Verde (PVSEC-35の会場)

実行委員長：大平圭介

実行委員：植田 謙、石川 亮佑、伊藤 雅一、崔 錦丹、峯元 高志

プログラム詳細：

https://www.jpvs.jp/workshop/IWS/ANJWS2024/details_ANJWS2024.html

招待講演者の講演題目：

- ・ Current situation of PV in Japan, Keisuke Ohdaira (JAIST, Japan)
- ・ Recent PV activities in Korea, Donghwan Kim (Korea Univ., Korea)
- ・ Thailand PV Research & Development and Policy Roadmap
Amornrat Limmanee (NSTDA, Thailand)
- ・ PV manufacturing and R&D activities in Turkey
Rasit Turan (Middle East Technical Univ., Turkey)
- ・ Current Status, Challenges and Prospects of Solar PV in Bangladesh's Energy Roadmap, Nowshad Amin (American International Univ. Bangladesh, Bangladesh)
- ・ Solar photovoltaics in India: An overview of research and development, industry expansion, obstacles, and future opportunities
Vamsi Krishna Komarala (IIT Delhi, India)
- ・ Overview and Outlook of Solar PV in Singapore, Thomas Reindl (SERIS, Singapore)

・日韓意見交換会

日時：2024年11月7日、19:00-21:00

場所：沼津、山正

参加者：日本側参加者：4名、韓国側参加者：4名

議題：日韓相互交流の継続

・PVSEC-39(2028)の提案支援

2028年開催予定のPVSEC-39の提案支援を行った。2024年11月7日に開催されたPVSEC国際諮問委員会でヒヤリング、投票の結果、本提案が採択された。主催：J-PVS、組織委員長：植田 謙、開催場所：横浜、Pacifico Yokohama.

【広報】

- (1) 広報活動・会員サービスの中核となるWebサイトのさらなる充実
- (2) 日本太陽光発電学会の設立を広く周知し、新規会員の獲得を目指す
という基本方針の下、以下に示す活動を実施した。

① Webサイトのさらなる充実

・ (1) PVSEC-35アーカイブサイトの構築

PVSEC-33と同様にPVSEC-35のWebサイトをpvsec.orgのサブディレクトリに移動し、アーカイブサイトとして公開を継続することとした（図1）。URLは次の通りである。
(<https://www.pvsec.org/pvsec35/index.html>)

The screenshot shows the PVSEC-35 archive website. At the top, there is a navigation bar with links for HOME, About, Program, Present, Attend, Awards, and Sponsor. The main content area features a title '921 participants (incl. 47 sponsors)' and a pie chart showing the distribution of participants by country. Below the chart is a table of participant counts by country. To the right, there are sections for the Institute of SCIENCE TOKYO, PVSEC social media links, and a 'Gourmet Guide' for Numazu & Mishima.

Country	#	Country	#	Country	#	Country	#
Japan	479	Spain	7	Israel	2	Philippines	1
Korea	104	France	6	Romania	2	Poland	1
Australia	50	Italy	6	Saudi Arabia	2	Portugal	1
China	48	Singapore	6	Sweden	2	Switzerland	1
Thailand	45	Belgium	5	Austria	1	Turkey	1
Chinese Taipei	27	Netherlands	5	Hong Kong	1	United Arab Emirates	1
Germany	24	UK	4	Luxembourg	1		
U.S.A.	22	Canada	3	Norway	1		
India	11	Qatar	3	Pakistan	1		

33 countries and regions

IMPORTANT DATES

- Abstract Submission Deadline:
May 31 (Fri), 2024
June 10 (Wed), 2024
- Late News Abstract Submission Deadline:
July 31 (Wed), 2024
- Abstract Acceptance Notice:
August 29 (Thu), 2024

図1 アーカイブ化されたPVSEC-35のWebサイト

・ (2) PVSEC.orgサイトの更新

図2に示すようにpvsec.orgサイトは年間13万回の合計表示回数（ユーザーの検索結果にサイトへのリンクが表示された回数）を数え、202の国と地域からアクセスされている。表1に示すように全体の7割程度が海外からのアクセスとなっており、2025年11月に実施されるPVSEC-36のホスト国であるタイからのアクセスがほぼ倍増した。



図2 pvsec.orgサイトの合計表示回数と合計クリック数
(2024年3月9日～2025年3月10日)

表1 pvsec.org 各国表示回数比較

Rank	国	表示回数	Rank	国	表示回数
1	日本	32,636	11	スペイン	2,044
2	米国	19,906	12	台湾	1,974
3	インド	8,383	13	シンガポール	1,829
4	韓国	7,788	14	イタリア	1,760
5	ドイツ	6,517	15	オーストリア	1,696
6	タイ	3,295	16	インドネシア	1,631
7	オーストラリア	2,923	17	オランダ	1,539
8	ブラジル	2,899	18	カナダ	1,408
9	イギリス	2,778	19	トルコ	1,327
10	フランス	2,439	20	ベトナム	1,317

(3) J-PVSサイトの更新

J-PVSサイトは継続的に更新を行った。今年度から簡易的なホームページの修正を外部委託している。Google Search Consoleの2024年3月9日～2025年3月10日までの合計表示回数を図3に示す。合計表示回数は17.6万回と高い値を維持している。表2にJ-PVSサイトの各国の合計表示回数を示す。日本が9割以上を占めるが、英語サイトを開設したことで、米国をはじめとした海外からのアクセスも数千回程度あり、J-PVSの海外への周知にも貢献していることがわかる。



図3 j-pvs.jpサイトの合計表示回数と合計クリック数
(2024年3月9日～2025年3月10日)

表2 j-pvs.jp 各国表示回数比較

Rank	国	表示回数
1	日本	151,505
2	米国	6,565
3	韓国	1,669
4	ブラジル	1,616
5	ロシア	1,119
6	インド	1,084
7	イギリス	1,079
8	ベトナム	970
9	ドイツ	632
10	台湾	606

（4）SNSによる情報発信

FacebookやLinkedinページにて、シンポジウムや分科会研究会の開催などの情報発信を隨時実施した（図4）。



図4

<https://www.facebook.com/JapanPhotovoltaicSociety/>
<https://www.linkedin.com/company/j-pvs/>

② 第19回再生可能エネルギー世界展示会＆フォーラムへの出展

本学会の周知を進めるため、上記の展示会に出展を行った。図5は現地展示でのブース写真である。詳細は以下の通りである。

展示会名：第19回再生可能エネルギー世界展示会＆フォーラム

現地展示期間：2025年1月29日（水）-1月31日（金）10:00-17:00 / 会場：東京ビッグサイト東1・2ホール＆会議棟

（<https://www.renewableenergy.jp/>）

来場参加者数合計： 42,089名

小間番号：1N-24-7

本展示会のため、入会案内パンフレットを作成した（図6）。このパンフレットをオンサイトおよびオンラインにて配布した。



図5



図6

【出版企画・編集】

(1) 会員になることのメリットとなる、太陽光発電に関する学術的記事や関連情報を提供する。

(2) 会員に対する重要な基本サービスとなる、機関誌等の企画・編集・発行を行う。

という基本方針の下、以下に示す活動を実施した。

- 独自機関誌創刊に向けた検討

- 機関誌編集委員会運営規程を制定
- 機関誌投稿規程を制定
- 発刊に向けた出版業者のヒアリング

- e-New Letter (Vol.3, Vol.4) の発行

【総務：運営体制立ち上げ事業】

(1) 日本太陽光発電学会のさらなるスムーズな運営および発展のため、効率的な運営体制を整備する。

という基本方針の下、以下に示す活動を実施した。

- 事務局の外部委託への移行
- 法人化にむけた定款、規程、細則の整備
- 表彰に関する規程の改定（研究会）

機関誌編集委員会運営規程の整備（出版企画・編集）

【財務】

(1) 2023 年度の決算報告を行った。

(2) 2024 年度予算に対する財務管理および決算処理を行った。

(3) 2025 年度予算案の策定を行った。

役員等に関する事項

1) 第5期(2024年度)理事、監事

理事/監事	役職	氏名
理事	会長	植田 譲 (東京理科大)
	副会長 (総務・財務・法人化)	増田 淳 (新潟大)
	副会長 (研究会・教育・出版)	大平 圭介 (JAIST)
	副会長 (国際・広報・D&I)	貝塚 泉 (RTS)
	総務	石川 亮佑 (東京都市大)
		西岡 賢祐 (宮崎大)
		瀬川 浩司 (東大)
	財務	野瀬 嘉太郎 (京大)
		新船 幸二 (兵庫県立大)
		佐野 浩孝 (京セラ)
研究会		若宮淳志 (京大)
		稲葉 道彦 (東芝エネルギーシステムズ)
		櫛屋 勝巳 (櫛屋勝巳事務所)
		中島 昭彦 (カネカ)
		今泉 充 (三条市立大)
教育・人材育成		大関 崇 (AIST)
		尾坂 格 (広島大)
国際		小長井 誠 (都市大)
		ダムリン マルワン (東洋アルミ)
		仁木 栄 (NEDO)
広報		黒川 康良 (名大)
		寺川 朗 (パナソニック)
出版企画・編集		石河 泰明 (青学大)
		伊藤 貴司 (岐阜大)
		岡田 至崇 (東大)
		高本 達也 (シャープ /宮崎大)
		峯元 高志 (立命大)
		松井 順矢 (AIST)

	ダイバーシティ&インクルージョン (D&I)	宇佐美 徳隆 (名大)
		櫻井 岳暁 (筑波大)
		上川 由紀子 (AIST)
監事	-	田中 誠 (PVTEC)
	-	和田 隆博 (龍谷大)

2)分科会

次世代太陽電池セル・モジュール分科会

分科会長

大平 圭介 (北陸先端科学技術大学院大学)

分科会幹事

新船 幸二 (兵庫県立大学)

宇佐美 徳隆 (名古屋大学)

大下 祥雄 (豊田工業大学)

櫛屋 勝巳 (櫛屋勝巳事務所)

杉山 正和 (東京大学)

高本 達也 (シャープ / 宮崎大)

田中 誠 (太陽光発電技術研究組合)

寺川 朗 (パナソニック)

飛田 博美 (電気安全環境研究所) (庶務担当)

増田 淳 (新潟大学)

峯元 高志 (立命館大学) (庶務担当)

山田 明 (東京工業大学)

ペロブスカイト太陽電池分科会

分科会長

瀬川 浩司 (東京大学)

分科会幹事

石川 亮佑 (東京都市大学) (庶務担当)

早瀬 修二 (電気通信大学)

別所 毅隆 (積水化学工業)

宮坂 力 (桐蔭横浜大学)

若宮 淳志 (京都大学) (庶務担当)

次世代太陽光発電システム分科会

分科会長

大関 崇 (産業技術総合研究所)

分科会幹事

伊藤 雅一 (福井大学) (庶務担当)

稻葉 道彦 (東芝エネルギーシステムズ)

植田 譲 (東京理科大学)

桶 真一郎 (津山工業高等専門学校)

小林 広武 (電力中央研究所)

杉渕 康一 (資源総合システム)

寺川 朗 (パナソニック)

西岡 賢祐 (宮崎大学)

若尾 真治 (早稲田大学)

WomeninPhotovoltaics 分科会(WinPVJ)

分科会長

上川 由紀子 (産業技術総合研究所)

分科会幹事

貝塚 泉 (資源総合システム)

金井 綾香 (長岡技術科学大学)

崔 錦丹 (東京理科大学)

塩川 美雪 (東芝エネルギーシステムズ／東芝)

増田 淳 (新潟大学) (庶務担当)

3)委員会

国際事業委員会

委員長

小長井 誠 (東京都市大学)

委員

石川 亮佑 (東京都市大学)

伊藤 貴司 (岐阜大学)

今泉 充 (三条市立大学)

植田 譲 (東京理科大学)

宇佐美 徳隆 (名古屋大学)

大下 祥雄（豊田工業大学）
大関 崇（産業技術総合研究所）
大平 圭介（北陸先端科学技術大学院大学）
岡田 至崇（東京大学）
貝塚 泉（資源総合システム）
上川 由紀子（産業技術総合研究所）
櫛屋 勝巳（櫛屋勝巳事務所）
黒川 康良（名古屋大学）
杉山 正和（東京大学）
瀬川 浩司（東京大学）
高本 達也（シャープ、2025.1より宮崎大学）
田中 誠（太陽光発電技術研究組合）
ダムリン マルワン（東洋アルミニウム）
沈 青（電気通信大学）
仁木 栄（新エネルギー・産業技術総合開発機構）
西岡 賢祐（宮崎大学）
早瀬 修二（電気通信大学）
増田 淳（新潟大学）
松井 卓矢（産業技術総合研究所）
峯元 高志（立命館大学）
村上 拓郎（産業技術総合研究所）
山口 真史（豊田工業大学）
山田 明（東京工業大学）
山本 憲治（カネカ）
若宮 淳志（京都大学）
和田 隆博（龍谷大学）

機関誌編集委員会

委員長

伊藤貴司（岐阜大学）

副委員長

岡田至崇（東京大学）

石河 泰明（青山学院大学）

委員

高本 達也（シャープ、2025.1より宮崎大学）

峯元 高志（立命館大学）

松井 卓矢（産業技術総合研究所）
大平 圭介（北陸先端科学技術大学院大学）
太田靖之（宮崎大学）
尾坂格（広島大学）
後藤和泰（名古屋大学）
飛田博美（電気安全環境研究所）
中崎城太郎（東京大学）
石川亮佑（東京都市大学）
桶真一郎（津山工業高等専門学校）
千葉恭男（産業技術総合研究所）
上川由紀子（産業技術総合研究所）
崔錦丹（東京理科大学）

将来構想検討委員会

委員長

植田 譲（東京理科大学）

委員

石河 泰明（青山学院大学）
伊藤 貴司（岐阜大学）
宇佐美 徳隆（名古屋大学）
大平 圭介（北陸先端科学技術大学院大学）
黒川 康良（名古屋大学）
瀬川 浩司（東京大学）
寺川 朗（パナソニック）
増田 淳（新潟大学）
松井 卓矢（産業技術総合研究所）
峯元 高志（立命館大学）
若宮 淳志（京都大学）

シンポジウム出版 WG

植田 譲（東京理科大学）
増田 淳（新潟大学）
石河 泰明（青山学院大学）
峯元 高志（立命館大学）
大平 圭介（北陸先端科学技術大学院大学）
西岡 賢祐（宮崎大学）

機関誌 WG

大平 圭介（北陸先端科学技術大学院大学）
伊藤 貴司（岐阜大学）
石河 泰明（青山学院大学）
峯元 高志（立命館大学）
松井 卓矢（産業技術総合研究所）
岡田至崇（東京大学）
高本 達也（シャープ、2025.1より宮崎大学）
機関誌編集委員会 各委員

著作権規程 WG

増田 淳（新潟大学）
大平 圭介（北陸先端科学技術大学院大学）
伊藤 貴司（岐阜大学）
石河 泰明（青山学院大学）
峯元 高志（立命館大学）
松井 卓矢（産業技術総合研究所）
石川 亮佑（東京都市大学）
西岡 賢祐（宮崎大学）
黒川 康良（名古屋大学）
植田 讓（東京理科大学）
大関 崇（産業技術総合研究所）
尾坂格（広島大学）

PVSEC-39(2028年)誘致 WG

植田 讓（東京理科大学）
若宮 淳志（京都大学）
大平 圭介（北陸先端科学技術大学院大学）
貝塚 泉（資源総合システム）
増田 淳（新潟大学）
宇佐美 徳隆（名古屋大学）
黒川 康良（名古屋大学）
石川 亮佑（東京都市大学）
上川 由紀子（産業技術総合研究所）
ダムリン マルワン（東洋アルミニウム）

大関 崇 (産業技術総合研究所)

尾坂格 (広島大学)

法人化準備委員会

委員長

植田 讓 (東京理科大学)

委員

増田 淳 (新潟大学)

石川 亮佑 (東京都市大学)

西岡 賢祐 (宮崎大学)

瀬川 浩司 (東京大学)

野瀬 嘉太郎 (京都大学)

新船 幸二 (兵庫県立大学)

寺川 朗 (パナソニック)

大平 圭介 (北陸先端科学技術大学院大学)

貝塚 泉 (資源総合システム)

役員会等に関する事項

1)総会

2024年6月26日(水) 13:00~14:00

Zoomによるオンライン開催。次の議案が付議され、原案通り承認された。

2023年度事業報告

2023年度決算報告

第5期役員の選出

2024年度事業計画

2024年度予算案

一般社団法人化の方針

2)理事会

5回開催された。審議事項は以下の通りである。

第1回

2024年5月9日(木) 15:00~16:30

第5期(2024年度)役員の役割分担について 承認

2023年度事業報告および決算報告 承認

2024 年度予算案	承認
会員の入退会について	承認

第 2 回

2024 年 6 月 3 日 (月) から 6 月 10 日 (月) (メール審議)	
法人化準備委員会の設置について	承認
総会の議案追加について	承認

第 3 回

2023 年 8 月 28 日 (水) 17:00~18:00 (Zoom によるオンライン開催)	
InnovativePV 賞, InnovativePV 奨励賞の選出について	承認
機関誌編集委員会運営規程について	承認

第 4 回

2024 年 12 月 9 日 (月) から 12 月 16 日 (月) (メール審議)	
機関誌編集委員会委員の委嘱について	承認

第 5 回

2025 年 3 月 25 日 (水) 17:00~19:00 (Zoom によるオンライン開催)	
会員の入退会について	承認
2024 年度決算見込みについて	承認
2025 年度事業計画について	承認
PVSEC 余剰金の受け取りについて	承認
法人化後の役員の選出方法と任期について	承認
会長の選出方法と時期について	承認
2026 年度「次世代の太陽光発電システム」シンポジウム開催案	承認
日本太陽光発電学会 Innovative PV 賞規程、Innovative PV 奨励賞規程の改正と規程や選考委員の公表方針について	承認
PVSEC-39 2028 年@パシフィコ横浜の会場使用契約について	承認

会員推移

2024 年度月別入会申し込み数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
個人	4	3	6	2	0	0
学生	12	21	6	0	0	0
団体	0	0	0	0	1	0
公益	0	0	0	0	0	0

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	1	0	0	0	0	2	18
学生	0	0	0	0	0	0	39
団体	0	0	0	0	0	0	1
公益	0	0	0	0	0	0	0

2024 年度退会数：個人会員 24 名 学生会員 20 名 団体会員 3

2025 年 4 月 1 日付有効会員数

個人会員 214 名 学生会員 96 名

団体会員 22 団体 公益会員 2 団体